

# 全国市議会旬報

第2090号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

令和元年 7月15日 (2019年)

毎月3回5の日に発行  
発行 全国市議会議長会

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
代表 TEL 03(3262)5234  
旬報 TEL 03(3262)2309  
発行人 滝本 純生  
<http://www.si-gichokai.jp>

## 地方議会・議員のあり方で総務省が研究会 本会 厚生年金加入を要請

総務省は6月28日、地方議会議員のなり手不足が深刻な状況になっていることを踏まえ、「地方議会・議員のあり方に関する研究会」＝座長・只野雅人一橋大学院法学研究科教授Ⅱを発足させ、初会合を開いた。

議員のなり手不足問題では、昨年3月、総務省の「町村議会のあり方に関する研究会」が、専門議員等による「集中専門型」と非専門議員等による「多数参画型」を提言。本会では、小規模市町村のあり方を大きく変容させる抜本的な改革にかか

わらず、関係市町村議会など現場の意見聴取がなされておらず、地方分権の中で議会権限が拡充されてきたこれまでの政策と逆行する一などとする会長コメントを公表していた。

当日は、安達委員が「定年制の会派もあり、年金を受給するまでは生活のためにアルバイトしなければならぬ」と地方議員の実情を訴え、「なり

達和彦神戸市会議長の2人がメンバーとなっている。

手不足対策の一環として自治体職員と同じ厚生年金への加入が必要」と述べたほか、「政治というものが遠い存在となっている」ことから、政治教育の必要性を訴えた。

また、「(総務省では)過去4回にわたる地方議会に関する研究会報告がなされているものの、制度改革が行われたという実感がない」と指摘。これまでの報告書を検証し、総括することが先決である旨、意見を述べた。

### 基地協

## 予算確保へ要望活動

全国市議会議長会基地協議会(会長Ⅱ船見亮悦三沢市議会議長)は7月1、2の両日、第94回理事會、基地関係国会議員との情報連絡會を開催し、令和2年度基地対策関係予算確保(概算要求前)要望活動を実施した。

第94回理事會では、基地対策関係施策の充実強

化に関する要望を決定したほか、総務省と防衛省から講師説明を受けた。

基地関係国会議員との情報連絡會では、基地協議會役員と武田良太、中谷真一両衆議院議員が意見交換し、要望活動では、

関係省庁や与党幹部に対し、理事会で決定の要望書を手交した。(会議・要望活動の詳細は2〜3面に掲載)



安達指定都市協会長 (神戸市)



川上地方行政委員長 (出雲市)

有識者6名と議会三団体代表4名で構成。本会からは地方行政委員長の川上幸博出雲市議会議長、指定都市協議会会長の安

第94回理事會では、基地対策関係施策の充実強

4面 神戸市会議長 インタビュー

### お知らせ

7月25日付け第2091号は、2092号との合併号とし、8月5日付け2091・2号として発行します。

# 「一致団結で活動」

## 基地協議会理事会で舩見会長

全国市議会議長会基地協議会（会長＝舩見亮悦 三沢市議会議長）は7月1日、全国都市会館で第94回理事会を開催した。冒頭挨拶で舩見会長は「令和元年度政府予算は、総務省所管の基地交付金・調整交付金、防衛省所管の基地周辺対策経費ともに増額確保がなされたが、現下の国の財政状況を考えると、基地対



挨拶する舩見会長

策関係予算を取り巻く情勢は非常に厳しい。基地対策関係予算の所要額確保や施策の充実実現には、協議では、基地対策関係施策の充実強化に関する要望を原案通り決定。重点要望項目として①基地・調整交付金（総務省所管）②基地周辺対策経費（防衛省所管）の所要額確保等を掲げた。また、地元選出国会議員への働き掛けを求めるとも

に、翌日2日に正副会長・相談役らによる要望活動を行うことを報告した。その後、今後の会議・要望活動日程、来年1月29日開催の第83回定期総会で行われる予定の役員改選について協議し、いずれも了承した。このほか、会議では、田辺康彦総務省自治税務局固定資産税課長から「基地交付金・調整交付金の現状と課題」、山野徹防衛省地方協力局地方協力企画課長から「基地周辺対策経費の現状と課題」と題する講演があった。（要望書のうち、重点要望項目を左掲。全文は本会ホームページに掲載）。



第94回理事会の様相

### 基地対策関係予算の所要額確保等に関する重点要望

#### 1 基地交付金・調整交付金（総務省所管）の所要額確保等

基地交付金・調整交付金の所要額を確保するとともに、基地交付金の対象資産の範囲を自衛隊の使用する全資産に拡大すること。

なお、調整交付金については、基地交付金と同様の性格を有していることから、基地関係施設の所在に伴う特殊な財政需要に鑑み、10%のマイナスシーリングの対象とならないよう基地交付金と同様に義務的経費として取り扱うこと。

#### 2 基地周辺対策経費（防衛省所管）の所要額確保等

(1) 基地周辺対策事業については、近年、補助対象施設・範囲の拡大等の適用基準の緩和がなされたことは評価されるものであるが、今後更に緩和を図るとともに、所要額を確保すること。

特に、特定防衛施設周辺整備調整交付金（調整交付金）は、基地周辺住民の基地に対する更なる理解と協力を得るために重要な施策であり、基地関係市町村は、同交付金を活用しつつ生活環境の整備や住民福祉の向上等に鋭意努力しているものの、基地関係施設の所在に伴う特殊な財政需要の増大等により厳しい財政状況にあることに鑑み、同交付金の所要額を確保すること。

(2) 基地関係市町村の地元産業を活性化するため、防衛施設における物品等の地元調達を促進するとともに、防衛施設関係工事及び維持修繕等の地元企業の受注機会を確保すること。

(3) 在日米軍再編に伴い負担増となる関係市町村に対しては、十分な支援措置を講じるとともに、再編に伴い現行の基地対策関係予算に支障が生じることのないよう十分配慮すること。

(4) オスプレイについては、安全性に対する国民の不安が未だ払拭されたとはいえない状況にあることから、日米合同委員会で合意されたオスプレイ運用の安全確保策を遵守するとともに、配備・飛行訓練等について、関係市町村に対し十分な説明及び情報提供を行うこと。

(5) 中期防衛力整備計画に基づき、基地の機能・運用等の変更を検討する場合には、関係市町村の実情及び地域の意見に十分配慮すること。

### 議会人事

#### 議長

▽弘前 清野一榮(5.22)

#### ▽武蔵村山

沖野清子(5.22)

#### ▽大田(東京)

塩野目正樹(5.22)

▽渋谷 下嶋倫朗(5.22)

▽北 渡辺かつひろ(5.22)

▽甲府 金丸三郎(5.22)

▽門真 内海武寿(5.22)

▽字部 射場博義(5.22)

▽黒石 工藤和子(5.23)

▽加茂 滝沢茂秋(5.23)

▽板橋 元山芳行(5.23)

▽神戸 安達和彦(6.19)

#### ▽副議長

▽弘前 小田桐慶二(5.22)

#### ▽武蔵村山

田口和弘(5.22)

#### ▽大田(東京)

岡元由美(5.22)

▽渋谷 岡田麻理(5.22)

▽北 古田しのぶ(5.22)

▽甲府 植田年美(5.22)

▽宇都宮 馬上剛(5.22)

▽門真 五味聖二(5.22)

▽字部 笠井泰孝(5.22)

▽小樽 千葉美幸(5.23)

▽黒石 今大介(5.23)

▽豊島 島村高彦(5.23)

▽板橋 大田ひろし(5.23)

▽神戸 村野誠一(6.19)



# 基地協 基地関係国会議員と意見交換 政府・与党に要望活動

全国市議会議長会基地協議会（会長＝松見亮悦 三沢市議会議長）は7月2日、海運クラブで基地関係国会議員との情報連絡会を開催した。

会議冒頭、松見会長から、7月1日開催の第94回理事会で決定した要望書に沿った要望陳述を交え、「安全保障環境が一層厳しさを増す中、基地関係市町村の果たす役割を十分に賢察いただいていると思う。基地対策関係予算の所要額確保に向け、一層の支援をお願いする」と、出席の国会議



武田自民党防衛施設議連会長



中谷自民党防衛施設議連事務局長

員に対し協力を要請した。当日は、武田良太自由民主党防衛施設問題に関する議員連盟会長、中谷真一同事務局長が出席し、要望事項等について意見交換を行った。

意見交換では▽学習等供用施設にかかる補助金の物価上昇との連動（小松市）▽オスプレイに関する迅速で正確な情報提供と米国防府に対する十分な情報提供要請の実施（福生市）▽都市部の基地所在市町村に対する税制面での配慮（木更津市）▽騒音防止対策事業にお

ける小中学校の除湿設備の採択基準緩和（千歳市）などの意見に対し出席国会議員から、「地元負担軽減に向けて働きかけを行ってほしい。オスプレイに関する情報提供や安全性については、私どもにご相談をいただきたい」などの発言があった。

また、防衛施設における物品等の地元調達促進について、武田、中谷両氏から「地元でできることは地元で行うというのが一番の基地対策になる。具体的な事例や意見があれば是非教えていただきたい」との趣旨の発言があった。

## 正副会長・相談役 要望活動を展開

情報連絡会終了後、正副会長・相談役市町（下掲）により、令和2年度基地対策関係予算確保（概算要求前）要望活動を行った。

## 地制調専門小委 中間報告とりまとめ

要望活動では、鈴木淳司総務副大臣、鈴木貴子防衛大臣政務官、寺田稔自由民主党副幹事長、稲岡伸哉総務省官房審議官（税務担当）に面談し、7月1日開催の第94回理事会で決定した要望書を手渡した。

▽会長＝三沢市  
▽副会長＝むつ市、浜松市、和泉市、新富町  
▽相談役＝千歳市、相模原市、横須賀市、大和市、呉市、佐世保市  
計11市町

第32次地方制度調査会第20回専門小委員会（委員長・山本隆司東大教授）が7月2日開かれ、「人口減少が深刻化し高齢者人口がピークを迎える2040年頃から逆算し頭在化する諸課題とその対応について」の中間報告案を取りまとめた。報告案では自治体間の連携など地域・組織の枠を越えた協力の必要性を強調、今後の地方自治について制度改正を含めた検討を求めた。近く開催する同調



鈴木総務副大臣（中央）



鈴木防衛大臣政務官（中央）



寺田自民党副幹事長（中央）

査会第3回総会に諮る。昨年7月、安倍晋三首相から、40年までの政策課題を念頭に「圏域における地方公共団体の協力関係、公・共・私のベス トミックスその他の必要な地方行政体制のありかた」で諮問を受け、専門小委で検討を進めてきた。これまでの専門小委で本会は、自治体同士の広域連携の必要性に理解を示しつつも、一定の隣接市町村の範囲を一括りにした画一的・固定的な「圏域」の設定押しつけに反対している。



地方議会議員のなり手不足対策を話し合う総務省の「地方議会・議員のあり方に関する研究会」のメンバーになった安達和彦神戸市会議長（65）は、本紙インタビューに、「なり手不足対策のひとつと考えられる、地方議会議員の厚生年金加入実現を強方に訴えていく」と語った。

6月に2度目となる神戸市会議長に選出され、本会指定都市協議会会長に就任。早速、総務省研究会で出番が来た。かつての議員年金廃止には言

いたいことがある。「そもそも廃止したことがおかしい。市会で総務大臣相手に裁判しようかと言っていたほど。自民党の政令議連でも声を挙げようとしていた」

37歳で議員に初当選した際、議員年金の説明を受けた。「議員を3期以上務めて辞めると、月20万円くらいもらえる」と。それが、掛金はどんどん上がり、給付額はどんどん下がって、ついには廃止に。「なんやねん、冗談やないで」と怒りが込み上げた。

「議員はもともと退職金がなく、年金も切られる。それでは議員のなり手不足につながってしまう」とキツパリ。「今度の年金加入は、議員だけの特権的なものをつくるのではなく、自治体職員と一緒に厚生年金に入らせてもらおう」というもの。

ころもある。政令市それぞれで成り立ちや財政規模、人口が違い、20市ひとからげでいいのかということは漠然と感じるが、政令市全体の位置付けを高めたい」と思いを語る。

## 議員のなり手不足対策 厚生年金加入を 安達和彦神戸市会議長

自民党

神戸市会議員団团长など8期の議員活動で議会活性化に取り組んできた。議会基本条例制定のほか、本会議での質疑・質問の一

現を訴えていく覚悟だ。指定協会長としては、多様な大都市制度の創設、議会の権能強化が活動のテーマ。「大阪は都構想に走り、神戸、横浜などは特別自治市を目指し、道州制でいこうという

問一答方式の導入など審議の充実や、「神戸市歯科口腔保健推進条例」神戸市こどもを虐待から守る条例」など10本の議員政策提案条例の制定、それに本会議インターネット中継での手話通訳導入、

市会議事堂ミニコンサートといった情報発信の強化などだ。この6月には、県立長田高校の生徒3人が若者の投票率アップを目的に、小学生向け主催者教育を実施した研究発表を市会で実施。「高校生が政治のことを真面目に考えてくれている」と深く感銘を受けたという。

24年前の阪神・淡路大震災で、兵庫県と、神戸、西宮、芦屋3市は4月の選挙ができず、6月に延期。4年後の平成11年に選挙を4月に戻したものの、任期を縮めることはできず、4月に初当選した新人は2カ月間、議員ではない状態が続いた。国の特例法成立により任期を短縮し、4年後にようやく選挙も任期も4月という元の状態に戻る。「震災28年目にして不思議な2カ月が解消される」

【プロフィール】 大学時代、いろんなアルバイトをし、そのひとつが選挙の手伝い。「はたから見ていて面白い世界と思った。全力疾走して100点が零点どちらかの結果が出る。こういうふう

に世の中動いているんだと分かったし、力を入れるべきはこういうところかと。この世界にしかフロンティアはないと思っ

た」。それで政治の世界へ飛び込み、大学卒業と同時に砂田重民代議士の秘書に。大臣現職中に亡くなった師に議員の姿を見せられなかったことが心残りという。特技は「プロ級」の商品の包装。学生時代、生協でのバイトで中元、歳暮用に商品を包装しまくった。「デパートで包装が下手な店員がいると、『やったらうか』と言いたくなる」。モットーは「ぶれない。逃げない。嘘をつかない。もうひとつ『売られた喧嘩は必ず買う』と笑った。